

みみつ中央通信

「福に憑(つ)かれるには、三つの習慣のいずれかが必要らしい。」これは、『「福に憑かれた男」(著：喜多川泰)に書かれている文章である。その本の大まかなストーリーはこうである。

小さな書店を経営していた店主の後を息子(秀三)が引き継ぐ。しかし、売れ行きは伸びず困っていた。さらに悪いことに、その書店から歩いてすぐのところ、大型書店が開店した。売れ行きは落ち込むばかりだった。そんなところに、山本天晴と名乗る老人が立ち寄り本を購入する。この老人との素敵な出会いの中で、老人が若者に色々と注文を付ける。これを若者は、実行していく。ここから、奇跡とも言える話が展開していくのだ。この老人には福の神が憑いていて、若者を救うチャンスを与えに来たのだ。どのようにして、福が憑くようになっていくのか、どうやってこの書店は立ち直っていくのかは、読書の世界で感じて欲しい。

話を戻そう。福に憑かれる三つの習慣とは、運が良くなるようにと、様々な形で、三つの習慣を身に付けさせることである。その三つの習慣とは・・・

「人知れずいいことを繰り返し、その量が一定値を超えた人」
 「他人の成功を心から応援、祝福し、その量が一定値を超えた人」
 「すべての人を愛することができる人」

これらのうちどれかを満たしている人であれば、福に憑かれることはないそうだ。

このような自己啓発の本を読むと、必ず今の自分を振り返ってしまう。

「人知れずいいことを繰り返ししているだろうか。他人の成功を心から応援、祝福しているだろうか。全ての人を愛することができるだろうか」

私は、この本を読んでから、数年で少しづつ、この三つの習慣を意識しつつ行動しているが、まだまだ、そのつもりであって、その量が一定値を超えていないような気がする。



校長
鈴木利明

福に憑かれ、人生を豊かに変える三つの習慣

さて、一定値とは、どんなことだろうかと考えてみた。人は、本来なら「善悪」で判断し行動しなければならぬことを、「損得」で判断し行動してしまう傾向にある。三つの習慣の中で、一定値を超えるというものは、このこと、つまり、損得の判断が善悪の判断になることではないだろうか。この若者も老人とのやりとりの中で、はじめは、損得(お金儲け)で働いていたのが、いつの間にか自分の本屋に集まる人たちに、眠っていたり、くすぶっていたりする夢に挑戦する勇気をあげたいと思うようになる。誰かが夢を実現する手助けを

したいと感じるようになっていく。

こんな話もある。嵐というグループが、どんなに頑張っても売れない時期があった。その時、メンバーでどうやったら、売れるようになるかを考えていた。そしてたどり着いた結論は、

「売れることではなく、喜ばせること」
 だった。どんなに小さな会場でも、ステージでも、どんなところでも、目の前で応援してくれているファンを喜ばせることだった。AKBも同じで、一通のファンレターを読んで、

「今、応援してくれている目の前のお客様を喜ばせよう。精一杯楽しんで満足していただくよう。」
 このように考え実行し、歌い続けた結果が今なのだ。

トップアスリートも、長い間芸能界で活躍する人々も共通していること。誰かを応援されたい、勇気付けたいから応援される人になっていく。さらに、応援される人たちは、福に憑かれる三つの習慣のどれかを実行している。そして、活躍するようになってからも三つの習慣のどれかを、もしくはすべてを実行し続けている。

人間は、ビックリするほど成長する生き物で、そこが人間の素晴らしいところでもある。山本天晴のような老人は、必ず、現れる。そのチャンスに気が付き、実行できるかが人生を大きく左右する鍵なのだ。

世の中全てのこと、必ずどこかで繋がっている。だからこそ、この三つの習慣を身に付けてみよう。見えなかったものが鮮明に見えてくるはずだ。そして、ワクワクする人生を精一杯楽しもうではないか。

体育の授業にバドミントンの国体選手



藤田道久さん（藤田研究所）、本多貴幸さん（Sweet Soul）を講師に迎え、体育の時間にバドミントンを指導していただきました。ラケットの持ち方から、スマッシュの打ち方、最後は試合をして楽しむことができました。試合になると、歓声が体育館に響き、楽しさの中に悔しさが見られ、最後は笑顔で終わることができました。

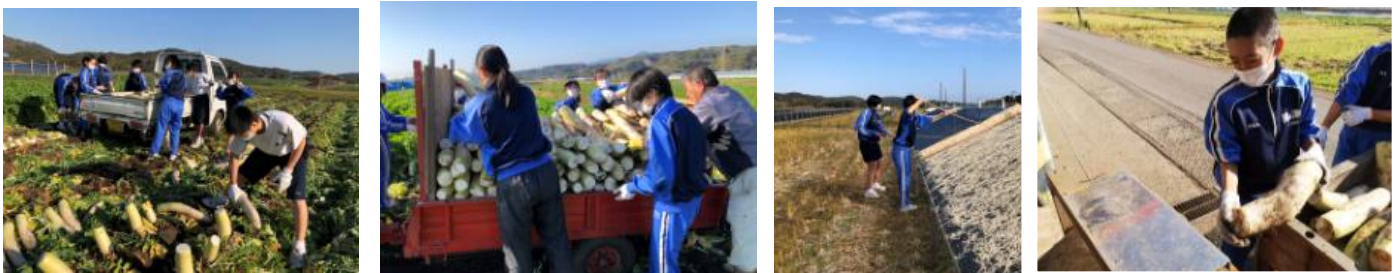
村上三絃道スクールコンサート



延期になっていた村上三絃道のコンサートが実施され、素敵な時間と空間を楽しむことができました。全国の民謡を聴いて、一緒になって踊ったり、声を出したりと楽しい時間を過ごすことができました。家元の村上由宇月さんは、MR Tラジオのパーソナリティもやっているのので是非聴いてみてください。

天候にも恵まれ、JA日向支所様並びに各農家皆様の御協力により、大根の収穫や切り干し作業などの農業体験が実施できました。いつも見慣れた風景でしたが、大変さの中に喜びも感じていたようでした。青空の下、お弁当も最高でした。

JA農業体験（2年）



凧作り（1年）

今年度も、甲斐政夫先生においでいただき、凧作りが実施できました。新年の9日（土）には、美々津海岸での凧揚げ大会があります。自作の凧が青空に舞い揚がるのが楽しみです。



新型コロナウイルスの影響で、年度当初予定していた学校の行事も計画通りには実施できませんでした。その中でも子ども達は、できる時にできることを、全力で挑戦することができました。大きな事故もなく、こうやって一年が終わることに感謝いたしております。これも、いつも学校を応援くださる保護者や地域の皆様のおかげです。どうぞ、素敵な年末年始をお迎えください。一年間ありがとうございました。